

あなたの心に  
寄り添い続ける  
〈感動〉が、ここに！

生き抜いた！ 医師として、夫として、父として—  
「心のケア」のパイオニアの半生を描くヒューマンドラマ。待望の映画化！



1995年。阪神・淡路大震災時、自ら被災しながらも、被災者の「心のケア」に奔走した若き精神科医・安克昌氏。本作は、当時の記録を綴った同氏の著書「心の傷を癒す」ということ 神戸…365日」(第18回サントリー学芸賞受賞)を原案として、NHKでドラマ化された本編を再編集。心のケアの大切さが高まる今、劇場公開となった。

実在の人物をモデルに描く本作の主演・安和隆に扮するのは、高い演技力に定評のある柄本佑。その彼を支え続ける妻・終子役には、海外での受賞歴もあり数々の映画・ドラマで活躍中の尾野真千子。また、和隆の父を石橋凌、母をキムラ緑子、兄を森山直太朗、弟を上川周作が好演。さらに、濱田岳、濱田マリ、近藤正臣と、脇を固める実力派俳優たちが集結した。



**STORY** 幼少期に自分のルーツが韓国にあると知って以来、自分は何者なのか模索する安和隆(柄本佑)。やがて、人の心に关心を持ち、父(石橋凌)に猛反対されるも精神科医の道を志す。そんな中、映画館で出会った終子(尾野真千子)と恋に落ちる。精神科医となった和隆は、終子とおだやかな家庭を築いていた。しかし、第一子が誕生してまもなく、大地震が神戸の街を襲う。和隆は避難所で多くの被災者の声に耳を傾け、心の傷に苦しむ人たちに寄り添い続け、「心のケア」に奔走する。



5年後、街は徐々に復興を遂げ、和隆も新しい病院に移り、理想の医療に燃えていたが、ある日、和隆にがんが発覚する—。

## 柄本 佑

尾野真千子 濱田岳 森山直太朗 浅香航大

清水くるみ 上川周作 濱田マリ

谷村美月 趙珉和 内場勝則 平岩紙／キムラ緑子 石橋凌 近藤正臣

主題歌:森山直太朗「カク云ウボクモ」(UNIVERSAL MUSIC)

原案:安克昌「心の傷を癒す」ということ 神戸…365日」(角川文庫) 脚本:桑原亮子 音楽:世武裕子

配給:ギャガ GAGA★ 配給協力:大手広告

### 本作のモデルとなった

精神科医 安克昌 氏

1960年生まれ。神戸大学附属病院精神科勤務を経て、神戸市西市民病院精神科医長を務める。阪神・淡路大震災直後より、全国から集まった精神科ボランティアをコーディネートし、避難所などで診療活動に尽力。



PTSD(心的外傷後ストレス障害)の研究者として治療活動を行うも、2000年12月、39歳で死去。

[gaga.ne.jp/kokoro](http://gaga.ne.jp/kokoro) @gagamovie [facebook.com/gagajapan](https://facebook.com/gagajapan) @gagamovie

